

雪

たねニュース

令和4年(2022年)1月1日発行(隔月1回1日発行)

- 北海道向け 牧草新品種の特性紹介
- 続 雪印種苗(株)苫小牧工場の歴史
- 第72回日本酪農研究会
北海道札幌市にて開催
- 道東営業部・道央営業部より新年のご挨拶
- 雪印メグミルクのお料理レシピ、6Pチーズ

ごあいさつ

2022年の新春を迎え、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より弊社事業につきまして、特段のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症は、日本国内でもワクチン接種が進み、感染者数、重症者数ともに減少しましたが、新たな変異株の発生など、まだまだ予断を許さない状況にあります。ワクチン接種回数の見直し等が始まっておりますが、防疫ならびに医療提供体制の更なる充実にも期待したいところです。酪農業界に目を向けますと特に中国の飼料穀物の輸入増加、海上コンテナ物流混乱による船運賃の高騰と飼料穀物生産国の天候不順が重なり、配合飼料製品価格が上昇しております。弊社としましては、草地更新や適切な肥培管理による自給飼料の増産および乳酸菌を使用した発酵品質に優れたサイレージ調製のご提案を通じて、良質な粗飼料生産、生乳生産の一助となるよう努めてまいります。

また、2021年4月に改正種苗法が施行されました。これは、日本で開発された優良品種の海外流出を防止することを目的としたものです。併せて「登

録品種」、「海外持出禁止」であることを明確に表示することも義務化されることとなりました。弊社は、表示の適正化に取り組んでおりますが、今回の種苗法改正にも速やかに対応してまいります。

弊社は創業の精神である「健土健民」、社是である「技術と誠意で農業奉公」を会社理念としております。今後もお客様のお役に立てるよう、地域に適した品種の開発と草地を含む飼料作物の栽培技術、牛の飼養管理技術を通じて、生産現場へ貢献してまいります。厳しい環境が続きますが、このような状況の時こそ、基本を忠実に実行していくことが重要になるかと思えます。

2022年の皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

2022年元旦

雪印種苗株式会社
代表取締役 高山 光男